

2016年5月17日

## トヨタ車体、「人とくるまのテクノロジー展2016」に出展

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）は、2016年5月25日から28日（金）までパシフィコ横浜（神奈川県横浜市）で開催される自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2016」（主催：公益社団法人自動車技術会）に出展し、福祉ならびに環境に関する製品・技術を中心に、トヨタ車体の技術力を紹介します。

また、（公社）自動車技術会主催の特別企画「超小型モビリティの試乗」コーナーにも参加し、超小型EV「コムス」の体験試乗を行います。

### 【ブースイメージ】

展示場所：小間番号 280



福祉分野では、昨年12月よりトヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）のシエンタ、ポルテなどのウェルキャブに新設定された「助手席回転チルトシート」（ユニット）を展示します。このシートは、さまざまなお客様にご利用いただけるよう“普通のクルマ化”をキーワードに、トヨタとともに開発。座面の前側を下げることで乗降性が向上するとともに、乗降に必要なスペースを縮小し、駐車場での乗り降りを容易としただけでなく、ベース車と同等の乗り心地を追求しています。



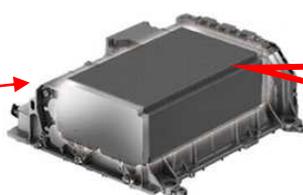
世界中のお客様の生活を支え続ける“もっといいクルマづくり”



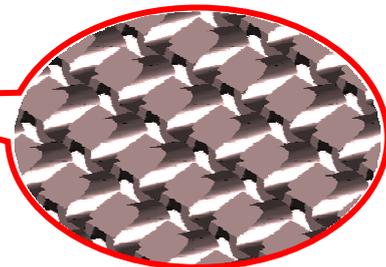
環境分野では、トヨタの燃料電池自動車“MIRAI”の燃料電池スタック<sup>\*1</sup>の空気極側流路を構成する基幹部品として、当社の超精密・高速プレス加工技術を用いてトヨタとともに開発した、発電効率を飛躍的に高める3次元的な微細格子構造を持つ部品「3Dファインメッシュ流路」と、自動車の軽量化と森林の再生につながることをねらいに、間伐材(スギ)を強化繊維として利用し、熱可塑性樹脂<sup>\*2</sup>と組み合わせた難燃性射出材料「TABWD/タブウッド」を展示します。TABWDはアルファード ハイブリッド車などのエンジンルーム内のワイヤーハーネスプロテクター<sup>\*3</sup>として採用されています。

トヨタ車体はこれからも、世界中のお客様の生活を支え続ける“もっといいクルマづくり”によるお客様のうれしさの最大化に向けて、製品や技術の研究、開発を続けてまいります。

### 【3Dファインメッシュ流路】



燃料電池スタック  
(画像提供：トヨタ自動車株式会社)



3Dファインメッシュ流路 (一部拡大)

### 【TABWD(タブウッド)】



TABWD



ワイヤーハーネスプロテクター

\*1：水素と酸素の化学反応を利用して電気をつくる発電装置で、高分子電解質膜に触媒を塗ったMEA(Membrane Electrode Assembly：膜/電極複合体)をセパレーターではさんだセルで構成されている。数百ものセルを重ねて一つにまとめたものを、燃料電池スタックと呼ぶ

\*2：適当な温度に加熱すると軟化し、冷却すると固化する変形しやすい性質の樹脂

\*3：配線をまとめかつ保護する目的で取り付ける部品

### 【コム試乗体験について】

- ・開催日時：5月25日(水)、26日(木) 10:00~17:00 / 5月27日(金) 10:00~15:00
- ・開催場所：パシフィコ横浜 1Fピロティ
- ・申込方法：試乗会場受付で手続きまたは人とくるまのテクノロジー展ホームページからの事前登録受付が可能
- ・試乗車：超小型EVコムス P-COM4台

世界中のお客様の生活を支え続ける“もっといいクルマづくり”

